

- b 申請本人が旅券を取得していない場合は、提出する立証資料（可能な限り本国の公的機関が発行するもの）に記載されたローマ字氏名を記載させる。
- c 申請本人が旅券を取得していない場合で、立証資料にローマ字氏名の記載がない場合（後記dの場合を除く。）には、ローマ字氏名が分かる資料の追完を求める。
- d 申請本人が旅券の取得をしておらず、かつ、立証資料に漢字氏名のみ記載の場合で、中国等申請本人の国籍・地域において、公的資料で氏名に漢字が使用されているときは、当該立証資料に記載された漢字氏名を記載させる。
- なお、ローマ字氏名によらず、漢字氏名によりF E I Sに登録するときは、カナの入力が必須であるので、外国人姓名漢字統一読み要領に留意し、正しく入力する。
- ③ 「出生地」及び「本国における住所地」  
 国名及び都市名を記載させる。この場合において、本国に住所を有しない者については、本国以外で通常居住する国（地域）名及び都市名を記載させる。
- ④ 「日本における連絡先」  
 本邦に申請本人が居住することを予定する住所がある場合には当該住所を、ない場合には招へい機関の所在地及び名称を記載させる。
- ⑤ 「旅券」  
 旅券の発給を受けている場合に記載させる。  
 （注）外国人旅券所持者についても記載させる。この場合、外国人旅券で発行国への再入国に期限のあるものを所持する者については、当該外国人旅券の有効期限を記載させた上で再入国期限を付記させる。
- ⑥ 「入国目的」  
 該当する入国目的に「レ」印を付させる。
- ⑦ 「同伴者の有無」  
 同伴者があるときは、申請本人との続柄及び人数を記載させる。
- ⑧ 「査証申請予定地」  
 申請本人が査証申請を行うことを予定している日本国大使館等の所在する都市名（例：ロンドン）を記載させる。ただし、申請予定地が不明な場合にあっては、申請本人が査証申請を行うことが見込まれる国名等を記載させる。
- ⑨ 「過去の出入国歴」  
 本邦に在留資格をもって出入国した経歴を有する場合には、その回数とともに直